

事務事業 No./名称	■サービス部門 文財-02 調査・整備事業 □支援部門								
主管課	文化財課	関連課	鎌倉国宝館、歴史まちづくり推進担当						
分野名	歴史環境・文化								
目標 (目標値)	文化財を保存し、活用を図る。								
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考				
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯					
	事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	87,263	107,545	109,180					
	(国・県)	43,583	65,037	67,879					
	(負担金等)	50	35	30					
	(一般財源)	43,630	42,473	41,271					
	人員配置数	3.7人	3.7人	3.5人					
	人件費(千円)	29,274	30,246	30,667					
	協働のパートナー								
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	116,537	137,791	139,847					
	市民1人当りの経費(円)	655	777	789					
	対象者1人当りの経費(円)								
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	横浜市	横須賀市	鎌倉市	小田原市	茅ヶ崎市	鎌倉市以外は平成24年度の数値		
	包蔵地数	2393	478	466	279	215			
	土木工事届出・通知数	120	39	724	175	238			
	発掘調査届・通知数	10	6	28	23	71			
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)		
法93・94条に基づく届出・通知件数	◎	目標値	600	600	600	600	600		
		実績値	713	670	699	724			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退									

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
調査・整備事業	87,263	文化財調査・整備事業	88,660	今後の方向性	A	理由・手法	発掘調査実施の長期間待機の解消と出土資料の整理を実施するにあたり、体制強化を検討する
		史跡調査・整備事業	844	今後の方向性	B	理由・手法	史跡指定及び整備に向けた調査を必要に応じて実施していく
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	発掘調査実施の待機期間の長期化及び、埋蔵文化財出土資料の増加による保存箱の保管場所の確保と出土資料の整理											
課題解決のための取組	調査・研究体制強化について検討						取組の結果	□解決 ■未解決				
未解決の課題	発掘調査実施の長期間待機の解消と出土資料の整理											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)				①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	発掘調査待機期間の短縮、出土資料の整理につなげるため、早急な調査・研究体制の強化について検討を進めるとともに、将来的な埋蔵文化財センターの開設をめざす。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		A			
※□事業完了												

評価者名

文化財課担当課長

吉田 宗一

